インクルーシブなプログラム作り

創作、発表、鑑賞、日々の表現

について考える

劇つく2025

劇つくとは

「劇場をつくるラボ（通称：劇つく）」は、さまざまな人の身体と表現、舞台芸術の創作、発表、鑑賞の場への参加について考える研究事業です。子どもから大人まで、障害のある人も一緒に参加する上映会やワークショップ、トークイベントなどを実施してきました。今年度は、長野県で３つのイベントを開催します。身体表現を軸に、さまざまな人が「地域の劇場」「教育の現場」「福祉施設」で創作や発表、鑑賞などに参加するプログラムをどのように設計していけるのか考えます。

ダンサーの
イルカとうさぎ

無料 / 要申し込み プログラム詳細は裏面へ

プログラム 1

7 月 13 日（日）13:00-18:00

場所：サントミューゼ ／ ゲスト：Ninian Perry、アライカリュウ晶子、恵志美奈子、森田かずよ

地域の劇場を起点に考える、インクルーシブなプログラム

プログラム 2

7 月 27 日（日）10:30-16:30

場所：佐久平交流センター ／ ゲスト：金箱淳一、伊達麻衣子＆竹田栄次、中西麻友、塩入健、野口晃菜

「ともに学ぶ教育」を文化芸術から考える

プログラム 3

8 月 23 日（土）11:00-16:00

場所：佐久市生涯学習センター ／ ゲスト：HANA PLAY（たんぽぽの家）、佐藤拓道、藤原佳奈、原田修

福祉施設で重度の障害のあるメンバーと身体表現にとりくむ

プログラム詳細
お申し込みは
こちら

役者の人魚

マネージャーの小魚

主催：一般社団法人 DRIFTERS INTERNATIONAL　企画・制作：株式会社 precog　助成：森村豊明会
後援：長野県教育委員会 / 上田市 / 佐久市 / 佐久市教育委員会　協力：ざこうじるい　企画アドバイザー：鈴木励滋

1 ある支援学校の教室で W先生は、毎日、演劇をしていました。

2 最近は、「橋を渡るシーン」のお芝居をしています。それぞれが、それぞれに、おっとっと…！と渡っていきます。

3 ある日、W先生はお魚のイラストをその川に置いてみました。そうしたら、いつも大人しいツチノコ君が、川に溺れる演技をしました。

4 ツチノコ君の水を吐き出す演技をみて、W先生はひらめきました。その夜、百均へ走ります。

5 翌日もやっぱり、ツチノコ君は川から落ちておぼれる演技をしました。すかさずW先生が取り出したのは…

6 リズムに合わせてピローピローと水を吐き出すツチノコ君

7 それをみたみんなも、川にざぶ〜ん。教室はピロピロ大合唱になりました

この漫画は、支援学校に長年勤めていらっしゃった先生から教えていただいた、特別支援学校でのエピソードをもとに許可をいただいて作成しました。「あの頃は、毎日が演劇でした。」とおっしゃられたのが印象的でした。

エピソードをお寄せください！

劇つくでは、教育や福祉などの現場で「表現が生まれた瞬間」を募集しています。応募いただいたエピソードは漫画や文章にして、９月に完成予定の冊子やWEBに掲載させていただくことがございます。（匿名でも大丈夫です。）

エピソードは
こちらから
お寄せください

劇場をつくるラボ2025プログラム一覧

こんな方におすすめ！

現場で「身体表現」を取り入れたインクルーシブな企画を実施したい、教育関係者、劇場・文化施設関係者、福祉関係者の方、障害のある方のご家族、障害児の保護者で身体表現のプログラムにご興味のある方

プログラム 1 地域の劇場を起点に考える、インクルーシブなプログラム

7 月 13 日（日）13:00 - 18:00　場所：サントミューゼ 多目的ホール
長野県上田市天神三丁目 15 番 15 号

地図

劇場など地域の文化的拠点で、多様な地域の人にひらかれたインクルーシブなプログラムを実施してきた団体や劇場プロデューサー、アーティストをお招きした座談会とイギリスのカンパニー paragon メンバーによる「障害のある人とのダンスワークショップを企画する人のためのダンスワークショップ」を行います。

ゲスト・講師

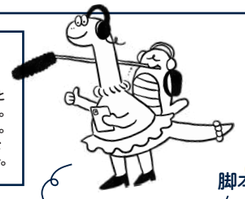
paragon
スコットランドを拠点に、音楽とダンスを通じてすべての人に創造の場を提供する芸術団体。世界各地でパフォーマンスやワークショップを行い、障害のある人の自己表現と社会参加を支援する。

Ninian Perry
クリエイティブ・ディレクター兼 CEO
Paragon 創設メンバーであり、インクルーシブ音楽を軸に世界各国で 7500 名を超えるパートナーと創作。メキシコ、インド、イタリアの障がい者団体と連携し、学際的な事業を手がける。

アライカリュウ 晶子
パラゴン ダンス・プラクティショナー
NY でコンテンポラリーダンサーとして活動。帰国後、「クリエイティブ・ムーブメント」を軸としたカリキュラムの開発や指導など、教育や創作の現場で広くインクルーシブダンスを実践する。

恵志美奈子
世田谷パブリックシアター劇場部創造環境開発担当
世田谷区下馬地区の福祉法人等と共に、都営下馬アパートを会場に、地域コミュニティの多様性や他者を知ることを目的にしたアートフェスティバル”極楽フェズ”（2021 年〜）を立ち上げ。

森田かずよ
俳優・ダンサー
先天性の障害を持って生まれる。自身の身体と向き合いながら、表現の可能性を考え続ける。「Performance For All People.CONVEY」主宰。演劇・ダンスの領域を超えて国内外の多数の公演に出演。東京パラリンピック開会式ソロダンサー。



プログラム 2 「ともに学ぶ教育」を文化芸術から考える

7 月 27 日（日）10:30 - 16:30　場所：佐久平交流センター 音楽室
長野県佐久市佐久平駅南 4 - 1

地図

特別支援学校に通う児童生徒が自宅近くの小中学校にも籍を置き、地域の一員として学び合う「副学籍」で、どんな授業をすればいいのか。佐久市出身の楽器インターフェース研究者、障害のある人たちとダンスをしてきた経験のある佐久市在住ダンサーにそれぞれヒントをもらいつつ、伊那養護学校特別支援教育コーディネーターと、文化芸術と学校現場をつなげる取り組みを行っている実践者、インクルーシブ教育の専門家を交えて、考えます。

ゲスト・講師

金箱淳一
楽器インターフェース研究者
玩具会社、美大助手を経て、神戸芸術工科大学准教授。障がいの有無を問わず音楽を楽しむための「共遊楽器」を研究。旧浅科村出身。

伊達麻衣子＆竹田栄次
コンテンポラリーダンサー
佐久市望月在住、それぞれドイツの Theater Thikwa、SZENE 2WEI で障害のある人とともにダンスをした経験がある。

中西麻友
NPO 法人芸術家と子どもたち事務局長
小学校教諭、イギリス留学を経て「芸術家と子どもたち」に入職。教育現場や児童福祉施設等でのワークショップをコーディネートしている。

塩入健
伊那養護学校 特別支援教育コーディネーター
すべての児童生徒に副学籍がある伊那養護学校で、副学籍を含めた地域化推進を担う。前任の伊那北小学校では、副学籍の受け入れ側として尽力した。

野口晃菜
インクルージョン研究者
小学校講師、株式会社 LITALICO 研究所長を経て、一般社団法人UNIVA理事。学校、教育委員会、企業などと共にインクルージョンの実現を目指す。

プログラム 3 福祉施設で重度の障害のあるメンバーと身体表現にとりくむ

8 月 23 日（土）11:00 - 16:00　場所：佐久市生涯学習センター
長野県佐久市取出町１８３ 野沢会館

地図

福祉施設で身体表現のプログラムを実施するには？福祉施設の運営スタッフとしてさまざまな表現活動に取り組む実践者のトークに加え、長年、重度の障害のあるメンバーとともに、演劇の活動を行っているたんぽぽの家の佐藤拓道さんと HANAPLAY のメンバーをお招きして、参加者に向けた演劇のワークショップを行います。

ゲスト・講師

HANA PLAY
たんぽぽの家アートセンター HANA で行っている演劇プログラム。毎週火曜日、10 名ほどのメンバーと演劇創作を行っている。昔話をもとにした作品や即興演劇、近年ではメンバーそれぞれの経験談をもとにした作品も創作している。その他、メンバーが登壇して講演を行ったり、演劇プログラムの手法を用いたワークショップも行なっている。

佐藤拓道
〈たんぽぽの家アートセンター HANA〉副施設長
障害のあるメンバーのケアに携わりつつ、俳優としても活動。また、たんぽぽの家では「HANA PLAY」と題した演劇プログラムを担当し、障害のあるメンバーの暮らしや人生の経験に基づいたオリジナルの演劇作品を創作。様々な場所で公演を行っている。その他にも施設外での演劇ワークショップ、講演なども行なっている。

藤原佳奈
戯曲作家・演出家
「松のにわ」代表。わたしたちの〈はたらき〉を聴き、再編し、上演の場をひらく。人が集い言葉を交わす場をひらきながら、現代における上演を問い直している。

原田修
浅間学園施設長
2011年より障がい福祉に従事。人間が生きる理由について入所者と共に考え、意味よりも感性を重視した支援を模索する。あさまバンド、焚火の会、スペシャルオリンピックス等を通じて、共生社会の実現に取り組んでいる。

プログラムについて

- 各回 **参加無料** です。
- お昼を挟むプログラムでは、ランチ休憩を設けます。お昼ご飯は持参されるか、周辺の飲食店で各自お取りください。
- 各プログラム、それぞれ座談会とワークショップで構成されています。
- 全回、開場は 30 分前からです。
- **要申し込み**：メールか QR コードから開催 1 週間前までにお申し込みください。
- メールの場合、件名に「劇つく申し込み」、本文にお名前・ご所属・年齢・参加人数・参加プログラムを記載の上、お申し込みください。
- 定員は、各回３０名程度（定員埋まり受付次第終了となります。）
- アクセシビリティ：文字支援を行います。そのほかご希望のサポートやご不安なことがございましたらお問い合わせください。

プログラムの詳細はこちら

お申し込みはこちら

お問い合わせ / お申し込みについて
メール：tfa@precog-jp.net / 電話：03-3528-9713
（「劇つく担当者」宛 / 平日 10:00-17:00）